

広報

ただみ

9

2016 月号

No. 556
平成28年9月10日

河井継之助の墓前で剣舞を披露する前田剣豪会

今月の表紙

今月の表紙は8月16日、塩沢地区の医王寺で行われた河井継之助墓前祭で披露された前田剣豪会(新潟県長岡市)の剣舞です。

長岡藩家老「河井継之助」没後148年の命日にあたるその日は、只見町民や新潟県長岡市民など約70名が参列しました。

式典では、塩沢観光協会の田村勝男会長が主催者挨拶を述べられ、その後、小千谷談判があった慈眼寺住職による読経が行われました。目黒町長は「武士としての生き様・立ち上がる勇氣・志は、人々の心に伝わっています」と追悼の言葉を述べました。式典の最後に前田剣豪会の力強い剣舞が披露され、大きな拍手が送られました。今年も多くの参列者と共に、終焉の地で継之助を偲ぶことができました。

<特集>

只見振興センター新築事業……………2~3

只見町成人式……………4~5

<News&flash>

「野生動植物を保護する条例」制定・施行／

県知事来町 視察と懇談会を実施 ほか ……6~9

<町の話題>

お盆帰省者歓迎の球技大会を開催／

「夏の盆踊り」楽しく賑やかに開催 ほか ……10~11

只見振興センター新築事業

只見振興センターが新しく生まれ変わる！



▲平成26年度に取り壊された只見総合開発センター

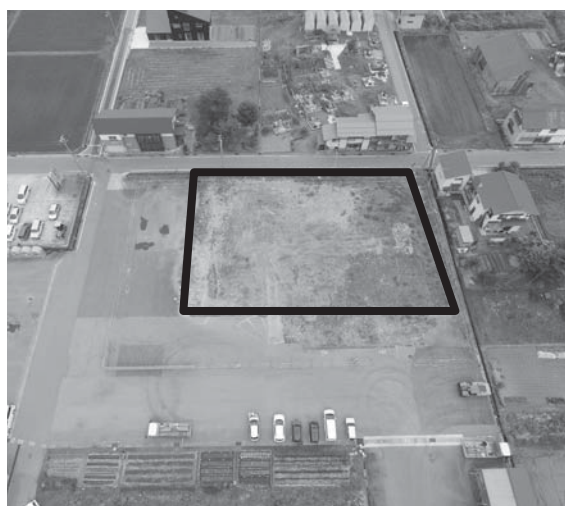
……新築の背景……

只見地区センター（現・只見振興センター）が設置されていた只見総合開発センターは、只見地区における産業基盤と生活環境の向上などを目的に、地域の拠点施設として昭和46年に建設されました。

建設後は、町をあげての文化祭や結婚式会場、各種催し物会場など交流の場等としても広く活用されてきましたが、平成20年に実施した耐震診断により、耐震性が低いことが判明し、建物の補強や新築工事について検討され、費用対効果の面から解体されることが決定しました。

平成23年3月に発生した東日本大震災により、建物が更にダメージを受けたため、同年5月に活動の拠点を旧只見中学校に移し、現在に至ります。

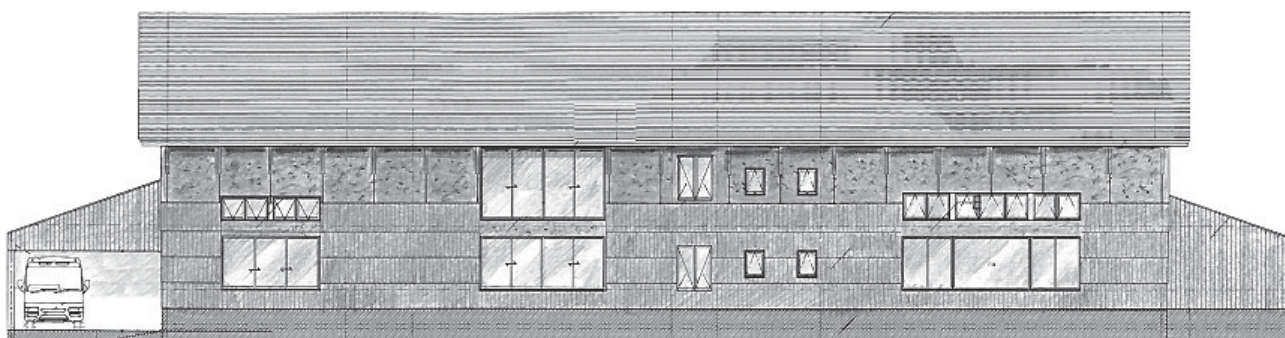
その後、役場庁舎との合築なども検討しましたが、多くの町民から別築について強い要望があり、平成25年10月に役場庁舎とは別築とすることとなりました。



▲只見振興センターは、只見総合開発センターと同じ場所に建設されます

別築決定後、只見振興センターの基本構想策定のため、町民や関係者等と意見交換会を繰り返し、更には只見振興センター建設検討委員会を設置し、具体的な基本構想の取りまとめを進めてきました。基本設計・実施設計を経て、地盤改良・本体工事を美馬建設㈱、電気工事を(有)本多電気工事店、設計監理を㈱環境システム研究所に各々委託契約しています。

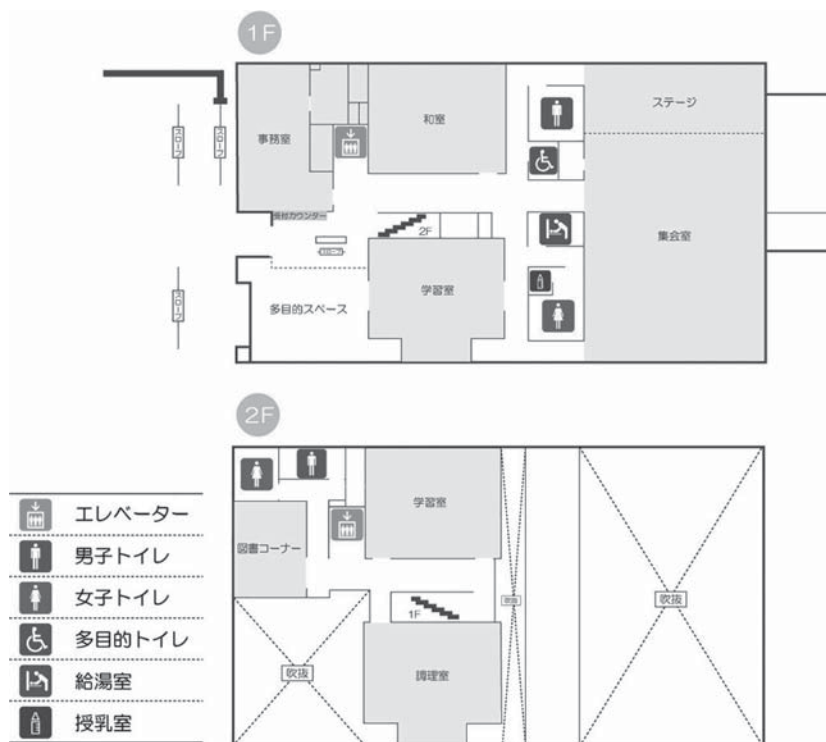
完成予想図



……建設の概要……

- ◆所在地
只見町大字只見字宮前1390
- ◆構造
木造2階建
(建物の一部に町産材を使用)
- ◆床面積
(1F)741.94㎡
(2F)257.61㎡
合計 999.55㎡(※本棟の面積)
- ◆工期
H28年6月20日
～H29年3月31日
- ◆工事費(地盤改良工事・本体・電気)
約530,000,000円
- ◆設計監理
(株)環境システム研究所
- ◆工事施工
・美馬建設(株)
・(有)本多電気工事店

平面図



只見振興センターの特徴

1. 地域のお茶の間や住民の活動拠点となるよう、1Fにコーヒブレイクが気軽にできる土間(多目的スペース)を設置し、老若男女を問わず気兼ねなく集える空間を設けます。
2. コンパクトな施設でありながら、地域住民の避難場所として安心して使用できるよう機能を充実します。
3. 町の林業の振興を図るために、町産材(スギ・カラマツ)を建築材料に活用します。

祝

成人おめでとうプロジェクト

平成28年度 只見町成人式



▲今年度成人を迎える31名の皆さん

8月15日、季の郷湯ら里で成人式が行われ、山村留学生を含め31名の新成人が出席しました。会場では、久しぶりに再会した友人と喜び合う姿が見られ、歓喜の声が上がっていました。

式典では、目黒町長が「只見町で生まれ育ったことを誇りに頑張ってください。願わくば只見に戻って来ていただきたい。願わくば只見の原動力となっていただきたい」と式辞を述べ、続いて行われた成人証書授与では、新成人から家族へ感謝の気持ちなどのメッセージが読み上げられました。また、齋藤邦夫町議会議長から励ましの言葉が送られ、先輩からのメッセージとして只見町で働く2人の先輩からは、自分達のこれまでの経験の中で新成人の皆さんの人生に役立てて欲しいことが話され、新成人の皆さんは真剣に話を聞いていました。

最後に成人者を代表して飯塚奈央さんが「成人を迎える不安もありますが、皆様からの言葉を胸に刻み、精一杯努力していきます。ふるさと只見町で成人式を迎えられ本当にうれしく思います」と謝辞を述べました。

式典終了後には、「18歳の酒プロジェクト」で作られた日本酒が、新成人に贈呈されました。



▲謝辞を述べる飯塚奈央さん



▲家族からの手紙に目をとおす新成人



▲一人ひとりに手渡された成人証書

～「18歳の酒」贈呈～



▲酒を受けとる吉津 勇さん

「18歳の酒」プロジェクトとは、高校3年生の時に酒米づくりから酒づくりまで体験して作ったお酒を2年間貯蔵して、成人式でプレゼントする事業で、酒造関係者と地元農家が共同で実施しています。



役場保健福祉課兼
介護老人保健施設こぶし苑
飯島 小百合さん

群馬県出身の私は、作業療法士の仕事で只見町に来ました。只見町は人の手が増えられていない大自然があること、そして“人と人との繋がりが強い”というのが特徴で、私はここで暮らすうちに豊かな心を手に入れました。只見町が田舎の見本になれるよう、町の素晴らしさを発信し伝えていきたいと思っています。

先輩からのメッセージ

南会津地方広域市町村圏組合
消防署只見出張所

渡部 錬さん

私は医療現場に興味があり、救急救命士の資格を取りました。只見町の救急搬送は、大きな病院まで時間がかかる為、救急救命士で町に貢献したいと思い戻ってきました。社会ではコミュニケーションが大事になるので“正直さ・素直さ・誠実さ・愛”を武器に、成人として頑張ってください。



新成人の夢と感謝の言葉



山田 祐斗さん

両親へ。今日まで育ててくれてありがとう。これからも迷惑かけると思うけど、かけた分親孝行するから宜しく!



渡部 春樹さん

専門学校卒業後只見に戻ってきて救命士として只見町に貢献したいと思っています。



飯塚 奈央さん

只見町の支援があったから今の大学に合格できました。立派な看護師になっていつか恩返ししたいです。

目黒 郷さん

只見町で過ごせて良かったです。将来只見町を有名にして戻ってきます。



鈴木 愛さん

やっぱり只見に戻ってくると安心します。みんな優しいだけでなく、人として良い人ばかりです。



山内 香純さん

自然豊かな只見で遊んだり走ったりすることができて幸せでした。只見で過ごした日々は一生の思い出です。



只見町の豊かな自然環境を守るために

「只見町の野生動植物を保護する条例」制定・施行

只見町は平成26年6月、人と自然との共生を目指すユネスコエコパークに登録となり、今回、町の豊かな自然環境とその重要な構成要素である野生動植物とその生育、生息場所の保護・保全を図り、地域の持続可能な発展を目指すことを目的として、「只見町の野生動植物を保護する条例」を制定し、今年の6月24日から施行となりました。

これは、野生動植物の保護・保全に関する法的規制が十分に整備されて



▲町内で発見されたタダミハコネサンショウウオ



▲フクジュソウ



▲山々に囲まれた豊かな自然環境を有する只見町

おらず、これまでも心無い人による

町内での山野草の盗掘、ライトトラップによる昆虫採集が報告され、移行地域(只見町管内)を中心に只見ユネスコエコパーク域内で守るべき野生動植物とその自生地、生息地について保護・保全を図る措置の必要性があり、町民の方々からもそうしたことに対応できる条例が求められてきたことにあります。

今後は町、町民・事業者、来町者が一体となり、豊かな自然環境の保護・

保全を図っていきます。

【条例の主な内容】

町は自然環境等の保全に関する基本的、総合的な施策を策定し、町が行う各種事業において最大限に野生動植物を保護・保全し、町民、事業者および来町者に対して野生動植物の保全に関する重要性の理解への啓発に努める。

町民、事業者および来町者は、町内の野生動植物の存在価値を理解し、その保護・保全に努め、町の実施する施策に協力する。

また、野生動植物の保護・保全のために、絶滅危惧種へ悪影響を与える活動は控えることや町が特に保護・保全すべきと判断した野生動植物を町指定貴重野生動植物として指定できるほか、ライトトラップなど野生動植物を大量に捕獲する行為は原則禁止する。

・・・などが定められています。

自然環境や野生動植物の存在によつて私たちの日々の生活は支えられています。只見町の豊かで貴重な自然環境や野生動植物を守り、町の発展に繋がるようご協力をお願い致します。

町内小・中学生の夏休み勉強会

サマースクール開催

町教育委員会が主催する町内小・中学生を対象とした夏休み勉強会「サマースクール」が、8月17日から21日の5日間、各振興センターや小学校などで行われました。

参加した児童・生徒たちは、夏休みの宿題や振り返り学習、勉強方法などを大学生から指導を受けました。勉強を教えたのは教員を目指す福島大学生12名や只見高校生3名で、学習指導のほかゲームやクイズを児童・生徒と一緒に楽しみました。

福島大学生からは「教育実習前の良い経験になり、へき地の学校について学ぶことができるので、逆に勉強させて頂いています」と笑顔で話していました。



▲大学生から学習指導を受ける児童たち

歌と踊りのチャリティショーで
只見線応援の為に寄付

8月5日、夢広場(大倉地区)の角田初美さんが役場を訪れ、只見線応援寄付金「305,516円」を渡部総合政策課長へ手渡されました。

この寄付金は、7月24日に埼玉県八潮市民文化会館(メセナ)において夢広場が主催し行われた「第4回頑張ろう東日本!只見線応援チャリティショー」で、チケットの売り上げの一部と、来場者の寄付金を集めたものです。プロの歌手などが歌と踊りを披露し、会場には約500名が訪れました。会場一角では只見線の写真を展示し、来場者へ只見線のPRも行われました。寄付では、夢広場の皆さんの只見線に対する思いを受け取り、早期全線開通へ向け活用していきます。



▲寄付金を渡す夢広場の角田初美さん(右)と受けとる渡部総合政策課長

地域課題解決型キャリア教育
「地域と高校をつなぐ講演会」開催

高校生の学力向上と地域再生の一体的展開を提唱している、岐阜県立可児高校教諭の浦崎太郎先生の講演会が8月9日、只見振興センターで行われました。主催は只見高校振興対策会議で、関係者23名が参加しました。

講演会では、高校生に変化をもたらせた「アクティブラーニング」という、高校と地域が協働で地域課題を解決し学ぶ教育方法について、可児高校を事例に説明されました。

高校生が地域の大人と交流することで、活きた大人の考えや社会経験が学べ、自分のスキルを地元で活かす考えが育ち、地域が再生していくというものです。今年度から町でも公営塾で実践する予定です。



▲アクティブラーニングの効果は、生徒の学習意欲向上や面接試験にあると説明する浦崎先生

県税完納4年連続
只見町が県知事より感謝状受賞

只見町の個人県民税の納税が、平成24年度から平成27年度までの4年間連続完納という功績が認められ、8月10日に役場町長室において表彰式が行われ、感謝状の贈呈を受けました。

表彰式では、大谷英明南会津地方振興局長から目黒町長に感謝状が手渡され、振興局長は「4年連続の完納は素晴らしい。今後も記録を延ばし、引き続き県税への協力をお願いしたい」と述べられ、町長は「この記録は町民一人一人が日頃から高い納税意識を持っているからこそ無し得たものと深く感謝します」と述べました。今後も只見町の完納記録が継続できるよう、皆さまのご協力をお願い致します。



▲大谷南会津地方振興局長(左)から感謝状を受け取る目黒町長

只見線をみんなで祝い
只見線ハースデイイベント開催

8月20日、JR只見駅で只見線ハースデイイベントが行われました。

このイベントは、20日に只見駅が開業53周年を迎えたこと、そして29日に只見線全線開通45周年を迎えたことから只見町観光まちづくり協会が主催で開催しました。

イベントでは、只見町と金山町の公式キャラクター「ブナりんかぼまる」が登場し、只見駅で只見線のお見送りをしました。また、8月に45歳、53歳になりました。また、南郷トマトジュースや只見線Tシャツなどが先着でプレゼントされました。そして、只見駅内では只見線への祝いメッセージが飾られ、只見駅はお祝いムード一色となりました。



▲ブナりん・かぼまると一緒に只見線を見送る皆さん

只見町の現地視察と懇談会を実施

8月18日、内堀雅雄県知事が只見町を訪れ、現地視察と目黒町長との懇談会が行われました。

現地視察では亀岡多目的活性化広場を訪れ、国の地方創生事業で認定された交流型観光推進事業で整備される「サンドバレーコート」の予定地を見学しました。コートの砂は只見湖周辺の砂を活用しサンドバレー実業団監修で公式コートの品質を目指すこと、敷地内にトレイラーハウスを設置し物販・カフェなど交流の場を創出すること、スポーツパーク構想などについて、町長から知事へ説明しました。

その後、季の郷湯ら里で意見交換が行われました。町長からのユネスコエコパークを軸とした町づくりや、ほんもの体験ができる滞在型観光、スポーツの拠点づくり、そしてJRR只見線の活用についての説明に対し、知



▲内堀県知事(左)へサンドバレーコートの説明をする目黒町長



▲只見線の復興についても確認しあった懇談会

事は「町の骨格がしっかりしており、目黒町長の熱意がしっかり伝わりました。特にサンドバレーコート事業は、他にはない山の中にあるのが特徴で、復興応援プロジェクト」絆で関わった全日本女子バレー監督の眞鍋さんのバレー教室がきっかけというストーリー性も素晴らしく、只見町の良さが分かります」と感想を述べられました。

町長から「ユネスコエコパークを軸とした町づくりについて、県との連携・支援を賜りたい」と伝えると、知事からも「県も只見町とスクラムを組んで取り組んでいきます」と協力への意向が示され、堅い握手で懇談会が終了しました。

「農業委員会」の選任と「農地利用最適化推進委員」の新設

任期満了に伴い改選された只見町農業委員会は8月12日に第1回総会を開催し、会長に矢澤照嘉委員、職務代理者に三瓶新一郎委員と飯塚春夫委員を選任しました。委員会の任期は平成28年8月12日から平成31年8月11日までの3年間となります。

また、農業委員会法改正に伴い、新たに「農地利用最適化推進委員」が設置され、各担当区域における農地利用の最適化を目指します。

| 農業委員会名簿 | 議席 | 氏名 | 住所 | 備考 |
|---------|-------|--------|-----|----------|
| | 1 | 三瓶 新一郎 | 蒲生 | 職務代理者 |
| | 2 | 齋藤 聡 | 亀岡 | 認定農業者・新任 |
| | 3 | 山内 征久 | 梁取 | 認定農業者・新任 |
| | 4 | 湯田 次雄 | 布沢 | 新任 |
| | 5 | 星 和 榮 | 塩ノ岐 | 認定農業者・新任 |
| | 6 | 佐藤 泉太 | 叶津 | 認定農業者・新任 |
| | 7 | 渡部 理一 | 福井 | 新任 |
| | 8 | 小沼 一弘 | 只見 | |
| | 9 | 渡部 周一郎 | 小川 | 新任 |
| | 10 | 飯塚 春夫 | 大倉 | 職務代理者 |
| 11 | 矢澤 照嘉 | 黒谷 | 会長 | |

| 農地利用最適化推進委員名簿 | 氏名 | 住所 | 担当区域 |
|---------------|--------|----------------|---------------------|
| | 五十嵐 義博 | 只見 | 石伏・只見・館ノ川・黒沢・叶津・八木沢 |
| | 矢沢 友一 | 塩沢 | 蒲生・寄岩・塩沢・十島 |
| | 佐藤 孝輝 | 小林 | 小林・大倉 |
| | 馬場 正一 | 坂田 | 坂田・布沢 |
| | 矢沢 達也 | 二軒在家 | 梁取・二軒在家・塩ノ岐 |
| | 星 耕一 | 福井 | 檜戸・小川・下福井・上福井 |
| 本名 一貴 | 黒谷 | 黒谷 | |
| 目黒 道男 | 熊倉 | 長浜・荒島・熊倉・亀岡・深沢 | |

只見町と新潟県三条市の交流事業
（株）スノーピーク社長による講演会を開催

国道289号八十里越工事区間の開通を見据えた新潟県三条市との八十里越交流事業として、オートキャンプのパイオニアメーカー（株）スノーピーク（三条市）山井太社長の講演会が8月27日、季の郷湯ら里で行われました。只見町と県南会津地方振興局の主催で、約200名が来場しました。

講演会は「人と自然をつなぐ空間提案」をテーマに、キャンプで人と自然を繋ぐ内容を話いただきました。アウトドアは先進国で需要が多く、ストレス社会で生きる人がアウトドアを望み、只見町は「自然に癒し」という財産を持つっており、それを活用したアウトドア提案がなされました。特に「グラン



▲「自然首都・只見」でのアウトドアを提案する山井社長

ピング（贅沢なキャンプ）」の提案では、只見町でしか成立しない「景色・食・サービス」を最上級の形で提供する新しい切り口を紹介いただきました。講演会最後には、来場者から多くの質問が飛び交い、八十里越交流事業の第一歩として大盛況で幕を閉じました。今後、只見町はユネスコエコパークのフィールド活用の一つとしてアウトドアで人と自然を繋ぎ交流人口拡大を目指します。また、会津工場ではスノーピークの「ダッチオーブン」を造る技術連携が始まっています。会津工場の鋳物技術と、ものづくりのまち三条市の経済交流が今後ますます盛んになるとを期待します。



▲会津工場の鈴木社長（右上）と技術連携について対談する山井社長（左上）

只見町明和婦人会
南会津建設事務所より感謝状

8月23日、只見町役場において道路などの愛護に功績のあった団体・個人に対する感謝状の贈呈式が行われ、南会津建設事務所から明和婦人会に感謝状が贈られました。

これは、通学・通勤など日常利用している公共道路に対し、明和婦人会の方々が長年に渡り、フラワーラインなど地区内の道路の美化に努め、快適で美しい道路環境づくりと、道路愛護意識の向上に貢献されたとして感謝状が贈られたものです。

贈呈式で佐藤善治南会津建設事務所長は「長年の美化活動に感謝申し上げます。今後も県とともに美化活動にご協力をお願いしたい」と挨拶されました。



▲佐藤所長（右）から感謝状を受ける酒井秋子会長（中右）、矢沢千代副会長（中左）、酒井環境整備課長（左）

明和地区の夏休み企画
「お寺に泊まろう」開催

8月4〜5日、梁取地区の成法寺で明和自治振興会主催の企画「お寺に泊まろう」が開催され、明和小学生の児童13名が参加しました。

お寺では、和尚様の法話、写仏・座禅体験など経験をしました。特に座禅では、子ども達が痛みを我慢しながら30分間足を組み、あたりは静まり返っていました。

子ども達は最後に「和尚様の話や座禅が良かった」、「みんな夕食を作ったり、お泊りが楽しかった」など感想を話しました。

子どもたちにとって夏の思い出になったとともに、親元を離れて泊まることで、子どもの成長に繋がったことと思います。



▲2日目の最後にみんなで成法寺の前で記念撮影する明和小学校の児童達

朝日・明和地区の恒例行事 お盆帰省者歓迎の 球技大会を開催！

朝日地区と明和地区で恒例になっている、各集落対抗「お盆帰省者歓迎野球・ソフトボール大会」が今年も盛大に開催されました。朝日地区では8月14日に「朝日地区親善ソフトボール大会」が行われ、6チームの参加があり、榎戸チームが見事優勝しました。

8月16日に行われた明和地区の「お盆帰省者歓迎野球大会」では、6チームで優勝を争い、小林チームが優勝を果たしました。大会終了後には、慰労会などが各々行われ、帰省者との交流を図りました。



▲写真／朝日地区親善ソフトボール大会ホームラン競争の様子



▲(只見地区)おはやしを演奏するチャレンジ隊



▲(明和地区)見事な仮装を披露した子どもたち

各地区で開催

「夏の盆踊り」楽しく賑やかに！！

お盆の夜に、只見地区と明和地区で盆踊り大会が開催されました。只見地区納涼盆踊り大会は只見若衆会の主催で、14、15日に沖下駐車場で行われました。只見小学校なんでもチャレンジ隊やそのOBである只見中学生、若衆会員がおはやしを披露し、住民や帰省客がやぐらの周りで輪をつくり踊りました。併せて14日には有志による花火大会も盛大に行われました。

明和地区盆踊り仮装大会は、明和青年団が主催で15日に明和振興センター駐車場で行われました。恒例の仮装大会では、団体が4組、個人参加3人が参加され、会場を盛り上げました。また、花火大会の後には大抽選会が行われ、ディズニーペアチケットなどが参加者に送られ、会場は熱気に包まれました。



せいた
湯田 誠汰くん
(坂田)

虫歯の
ない子



(8月2日
3歳児健診)

JR只見線募金を頂きました！！



▲目黒町長へ募金を手渡す
吉津さん(左)

8月24日、ヤマザキショップ松屋酒店の吉津年浩さんより、3年間店内に設置した募金箱で集めた只見線募金「114,599円」が目黒町長へ手渡されました。吉津さんは「只見線の復旧に役立てて欲しい」と述べられました。

只見町ブナセンター 講座と観察会を実施



ブナセンター講座

7月30日(土) 「只見地域で見られるカミキリムシ類とその生態」

只見町では、2014年、2015年に、ユネスコエコパーク事業のひとつである自然環境基礎調査として、昆虫相調査を行いました。只見町は山深く、そこにどんな生物が生息・生育しているか、未解明な部分が多くあります。今回の調査で明らかになった只見町の昆虫相、甲虫類について、調査を担当された榎原寛氏(森林総合研究所)に解説していただきました。はじめに、榎原氏が専門としているカミキリムシ類について、形態、食性、身を守る方法(擬態)などが種によって異なることなど、カミキリムシを理解するポイントを教えてもらいました。



▲セミナー室いっぱいの参加者

続いて只見町の昆虫相の特徴をお話いただきました。カブトムシが小型であること、クワガタムシの種類が多様であること、大曾根湿原での珍しい甲虫の発見、良好な森林の指標種が多いこと、マイマイガの大量発生時にチョウの幼虫を食べる昆虫が増えたことなどが報告されました。只見町の昆虫相の特徴を端的にまとめていただき、只見町の自然を理解するすばらしい機会となりました。26名の方にご参加いただき、ジョークを交えての榎原氏の人柄が表れる講座を楽しみました。なお、これらの成果は、現在開催中の企画展で、豊富な標本とともに見る事が出来ます。

自然観察会

7月31日(日) 「昆虫採集と観察会」

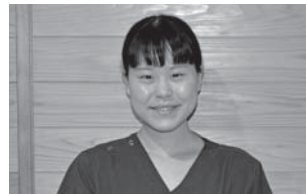


▲たたき網と棒を使って昆虫を捕まえる参加者

講座の翌日には、榎原氏と一緒に昆虫採集をし、捕まえた昆虫の説明をしてもらいました。観察場所は梁取の学びの森です。事前に昆虫を捕まえるバナナトラップや枝トラップを仕掛けていたのでそれらを確認しました。それからたたき網と棒で枝をたたいて落ちてきた昆虫を捕まえました。当日までに雨が多かったので採れた虫は少なかったですが、それでもカミキリムシ、クワガタムシなどの甲虫が10種類程度捕れました。中でもヨコヤマヒゲナガカミキリは、ブナ、イヌブナの生木を食べる珍しいカミキリムシです。成虫になると若い枝を求めて木の上の方に移動するのでなかなかお目にかかれないそうです。ちょうど成虫になって出てきたところを捕まえられました。今回の観察会には9名の参加がありました。参加者の皆さんは昆虫を捕まえている間、童心にかえって楽しんでいました。

新しい看護師さんが朝日診療所に着任しました!

8月1日から11月30日まで朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の藁谷玲奈さんです。会津若松市内の「仁愛高等学校」卒業後、会津中央病院の救命救急センターに勤務され現在2年目です。藁谷さんは、只見で初めて訪問看護を経験され、患者さんとの距離が病院より身近であること、そして看護師主体で責任があることから興味を持たれたそうです。「私のことを見かけたら気軽に声をかけて欲しい」と明るく話してくれた藁谷さんをどうぞ宜しくお願いします。



藁谷 玲奈さん(出身/いわき市)
家系に看護師が多く、小さい頃から看護師になるのが夢でした!

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



「生まれた子供にはB型肝炎予防接種を！」

オリンピックの熱戦が終わりましたね。4年後の東京オリンピックでは、只見からも活躍する選手が出場するでしょうか。

さて、今年10月から子供のB型肝炎予防接種が定期接種になるのをご存じでしょうか? B型肝炎ウイルスは肝硬変や肝臓という重い病気の原因になります。肝炎が起きている人の血液・体液などを通して周囲の方へ感染します。昔は輸血での感染や、B型肝炎を持つお母さんから生まれた子供への感染が多数ありました。最近は輸血のチェック体制が改善され、B型肝炎を持つお母さんが出産する際には予防措置がとられています。しかし、輸血をしなくても、家族にB型肝炎がなくてもB型肝炎ウイルスに感染してしまう人がいます。B型肝炎は感染を起しやすいうイルスです。HIV(エイズ)なども血液で感染を起しますが、それ以上に感染する力が強いウイルスです。

幸いなことに、B型肝炎ウイルスには予防接種(ワクチン)があります。これまでは「任意接種」として各個人が

お金を出して接種するワクチンでした。今年10月から対象の子供には市町村が補助をして接種できる「定期接種」になりました。

子供にB型肝炎の予防接種を受けさせるとどんな良いことがあるのでしょうか? B型肝炎に感染しにくくなり、肝硬変・肝臓になる可能性がとて低減することがわかっています。B型肝炎は世界中で広がっている病気です。国内で感染する可能性もありますが、海外旅行や海外で働くことで感染の機会が増えるかもしれません。

接種方法は生後2か月に1回目、3か月に2回目、7-8か月に3回目の接種が一般的です。定期接種対象となるのは平成28年4月以降に生まれた子供で、原則1歳になるまでに接種する子供です。詳しくは診療所医師や町の保健師へご相談下さい。

健康かつ安心して過ごせるように、全ての子供に0才からB型肝炎予防接種をオススメします! 子供達が将来オリンピックなど海外で活躍する際も安心です。

地域おこし協力隊として vol.22

只見観光振興協力隊
橋本 拓馬



『やるならいましかね』

「やるならいましかね やるならいましかね 6.6
の親父の口癖は やるならいましかね」

♪西新宿の親父の唄 長瀬剛♪

この唄は私が地域おこし協力隊に応募する際に後押ししてくれた唄です。私の中で只見で衣食住をしたい気持ちがありました。この気持ちは誰にも負けない自信がありました。

しかし、いざ応募しようとした時に色々な不安がでてきました。近所の人たちと交流ができるか、会

社は人員不足で退職してもいいものか。考えれば考えるほど不安が増す一方で応募するのをためらいました。そんな時にこの唄を聴いて勇気ももらい決心することができました。そして晴れて只見町で衣食住することができました。これからは、地域おこし協力隊として精いっぱい頑張りたいと思いますので皆様よろしくごお願い致します。

人生一度きり。うじうじしても何も始まらない。やって後悔しよう。やるならいましかね。

同時代史料が語る只見の歴史⑤

矢澤家旧蔵の陶磁器(1) — 矢澤家と木箱墨書銘陶磁器 —

矢澤家について

塩沢の河井継之助記念館は、故矢澤大二氏が保存されていた終焉の間や遺品をもとに開館したものです。矢澤家は司馬遼太郎氏の『峠』の主人公になった長岡藩家老河井継之助が長岡の戦闘で負傷し、若松に向かう途中の慶応四年(一八六八年)八月十六日に四十二歳で終焉を迎えた家で、当時矢澤家は医師を家業としていました。大二氏のお話により、矢澤家は中世に金山谷などを支配した山内氏の家臣でしたが、豊臣秀吉の奥羽仕置によって山内氏が所領を失ったため、帰農したということでした。江戸時代に矢澤了祐が医師を開業しますが、その時期は位牌に記された没年により一八世紀中頃以降と考えられます。以後、玄説・宗益・宗篤と四代にわたり昭和初期まで医

師を続けました。大二氏の曾祖に矢澤家で所蔵する陶磁器の調査をする機会を得、五四器種(陶器一三器種、磁器四一器種)を確認しました。年代は一八世紀末から一九世紀が中心で、生産地は陶器が会津本郷産、磁器は肥前産(佐賀県産)のものが多かったです。このうち一五器種が木箱に入っており、木箱の蓋の表・裏・側面などに購入年月日、器種名、購入者、また一器種ですが購入先の墨書銘があります。これらの墨書銘から木箱に入っている陶磁器の使用年代や当時何と呼ばれていたか、そして流通を知ることができま

木箱墨書銘陶磁器

筆者は平成二年(一九九〇年)

す。木箱は購入者が大工につくらせたようです。一五の木箱の一つに「大工源右工門作」と記されているのがあります。購入年月日は最古が寛政六年(一七九四年)、最新は慶応二年(一八六六年)で、購入の期間



▲文久3年購入の奈良茶碗と木箱

は七二年に及びます。

一五器種の陶磁器は皿類、碗類、その他に大別でき、皿と碗が三分の二を占めます。それぞれの名称から当時の呼び名がわかります。皿類は上皿、小皿、長皿、砂鉢(さぼち)です。碗類は一寸口、茶盃(ちやわん)、登艸茶碗(とくさ)、飛々焼茶碗(ひびやき)、奈良茶碗、南京奈良茶碗です。その他は猪口、眼家具蘭曳(がんかぐらんびき)で、普通の家庭ではゴキ(木で薬をつくる道具)、三ッ組瀬戸重、透井、義屋満陶盃洗(ぎやまんとう)です。購入者は「矢澤氏」のみで名前が特定できないのが二、矢澤玄説が五、矢澤宗益が八です。玄説は千秋堂、衆益は千種堂と文

前に特定できないのが二、矢澤玄説が五、矢澤宗益が八です。玄説は千秋堂、衆益は千種堂と文



▲寛政6年購入の上皿の木箱



町民文芸

只見短歌会

七月詠草

大塚栄一

指導

高価なる補聴器買へども煩はしときをり使ふにいたく手間取る

古川 英子

炎天下自動散水の装置などに子は黙々ととり組みてをり

新国由紀子

夏草を取りつつ空を見上ぐれば秋あかね早も出でて驚く

馬場 八智

立籠める朝霧の中つき抜けて澄む鳥の声しばし聞き入る

小倉キミ子

水爆の実験ニュースに怒りたる被爆者の言葉に胸を打たれる

関谷登美子

眠れずに戸を開けをりて裏庭のひとつの蛍に見蕩れて居たり

渡部ゆき子

含ませば身震ひをする孫達に梅の実の良さ説く顔歪む

目黒 富子

時折はハウスの中に風入りてトマト挽ぎゆく顔の涼しき

渡部ヨリ子

声に出し唄へぬわれは懐かしき昭和演歌の歌詞めぐりあつ

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

八月例会

目黒十一

指導

やかましい蝉が邪魔する昼寝時

信

観音の寝たる姿や雲の峰

光るとき風の音聞く螢かな
見えていてすぐに消えゆく梅雨の山

順子

いつまでも慣れぬ正座や夏座敷

都

汗ばみて右左へと鍬を引く

夕立や同級会の相合傘
太過ぎしキュウリどっかど流し端

修一

夏帯に母想い黙す帯戸の間
朝顔の庭隅に咲くこぼれ種

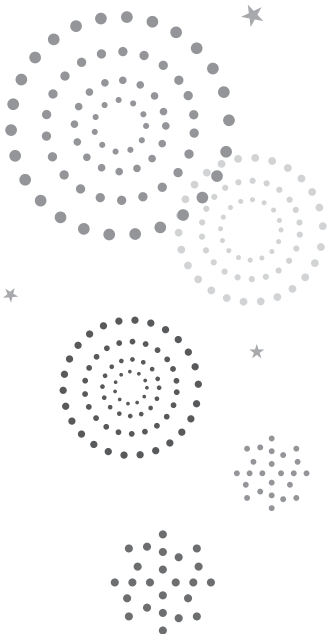
味代子

初トマト神仏に上げ朝餉かな
籠編む草軒に吊して土用入り

一穂

一と品は散歩の折りの夏葎
別荘と言ふ夏草叢の中にな

礼



今月の お知らせ

電話番号

| | |
|----------------------|------------------------|
| 総合政策課 地域振興係 財政係 | ☎ 82-5220 |
| 総務課 総務係 職員係 | ☎ 82-5210 |
| 町民生活課 税務係 町民係 | ☎ 82-5110 ☎ 82-5100 |
| 保健福祉課 保健係 福祉係 | ☎ 84-7005 ☎ 84-7010 |
| 農林振興課 農政係 林政係 | ☎ 82-5230 |
| 観光商工課 観光係 商工係 | ☎ 82-5240 |
| 環境整備課 地域整備係 生活環境係 | ☎ 82-5270 ☎ 82-5280 |
| 会計室 | ☎ 82-5120 |
| 議会事務局 | ☎ 82-5300 |
| 農業委員会 | ☎ 82-5230 |
| 教育委員会 | ☎ 82-5320 |
| 学校給食センター | ☎ 84-7180 |
| 只見保育所 | ☎ 82-2219 |
| 朝日保育所 | ☎ 84-2038 |
| 明和保育所 | ☎ 86-2249 |
| 朝日診療所 (歯科) | ☎ 84-2221 ☎ 84-2612 |
| 訪問看護ステーション | ☎ 84-2130 |
| こぶし苑 | ☎ 84-2101 |
| 只見振興センター | ☎ 82-2141 |
| 朝日振興センター | ☎ 84-2111 |
| 明和振興センター | ☎ 86-2111 |

税 今月の納期

- 9月26日までに納めましょう
- 国民健康保険税(3期)
 - 介護保険料(3期)
 - 後期高齢者保険料(2期)
 - 水道使用料(2期)
 - 農集排使用料(9月分)

情報

出張「がん相談」&「特別講演会」in南会津を開催

がんに関する知識を深め、共に考える為のイベントを次のとおり開催します。お気軽にご参加下さい。

●日時 10月29日(土)
受付(午後1時から)

●会場

南会津町「御蔵入交流館」

多目的・健診ホール

●対象者

地域住民の皆様、医療・保健・福祉の分野で働く方

●定員 100名

●申込 不用(参加料無料)

●主催

福島県がん診療連携協議会相談支援部会

●お問合せ

竹田綜合病院
医療社会福祉課
☎ 0242(29)9898

相談

女性のための相談窓口
女性相談員が対応します

県では、女性が抱えるさまざまな相談を受け付けています。

- ・女性相談員があなたと一緒に、問題解決のお手伝いをお願いします。
- ・配偶者や恋人からの暴力(DV)
- ・結婚や離婚など家庭内のトラブル
- ・家族関係

●経済面や生活のこと など

●相談・問い合わせ
福島県南会津
保健福祉事務所
女性相談窓口

☎ 0241(63)0305
福島県女性のための相談支援センター 女性相談窓口
☎ 024(522)1010

お知らせ

10月の強化月間
「不正軽油撲滅」について

県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでおります。軽油に課せられる県税である軽油引取税を脱税する目

的で、軽油に灯油や重油を混ぜるなどして製造される燃料、いわゆる「不正軽油」が正常な軽油と偽って販売・使用されている事例があります。

「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない」
不正軽油の防止・撲滅には、県民の皆様のご協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供につきましては、左記のお問合せ先までご連絡下さい。

●お問合せ

県庁総務部税務課
☎ 024(521)7205
FAX 024(521)7905
✉ zeimu@pref.fukushima.lg.jp
南会津地方振興局県税部
☎ 0241(62)5214

10月の強化週間
「公証週間」について

10月1日から7日は「公証週間」です。遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産賃借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めに公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守ることができま

●お問合せ

会津若松公証役場
☎ 0242(37)1955

「多重債務相談窓口」

借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。借金問題はさまざまな方法で解決できます。お気軽にご相談ください。

●相談窓口

財務省福島財務事務所 理財課

●受付時間

平日 8時30分～12時
13時～16時30分

●電話(多重債務相談窓口直通)

☎024(533)0064

「出前講座」

「おかげかい帳をつけよう」「日本の財政を考えよう」「なりすまし詐欺被害防止」など、小学生から高齢者の皆さまを対象に出前講座を行っております。講演料は無料です。お気軽にお問い合わせください。

●お問合せ先

財務省福島財務事務所 総務課
☎024(533)0301

町長の手帳

町長スケジュール (8月分)

- 1日 朝日財産区管理会委員辞令交付、只見町議会8月会議
- 2日 国道289号建設期成同盟会正副会長会議(東京)
- 3日 朝日新聞取材
- 4日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)
- 5日 福島県治水・砂防協会役員会及び総会(福島市)
- 6日 沼沢湖水まつり(金山町)
- 8日 会津縦貫道整備促進に係る中央要望(東京)
- 9日 民進党移動政調会
- 10日 JAよつば専務来庁、阿賀川河川事務所長来庁、県民税完納感謝状贈呈式、只見川電源流域管内首長情報交流会(柳津町)
- 12日 農業委員会委員辞令交付
- 15日 只見町成人式
- 16日 河井継之助墓前祭
- 18日 県知事との意見交換、いわき光英氏来庁
- 19日 季の郷湯らみ取締役会、水の郷うまいもんまつり実行委員会
- 22日 国道289号建設期成同盟会新潟県内要望(新潟県庁等)
- 23日 9月補正予算査定、極上の会津プロジェクト協議会臨時総会(会津若松市)
- 25日 エコパーク連絡調整会議、県公立学校退職校長会要望
- 26日 国道289号建設期成同盟会総会・事業説明会・中央要望(東京)
- 27日 人と自然をつなぐ講演会
- 28日 福祉の里夏まつり
- 29日 南会津地方環境衛生組合定例議会(下郷町)、元只見町議会議員 故 岩淵正明氏告別式
- 30日 只見川河川整備促進期成同盟会県要望活動(福島市)～中央要望活動(東京)～31日

「末端集落から先端集落へ」

8月は暑さとともに何かと慌ただしい月だった。盆の帰省客や成人式、各地区での盆踊りの開催などで心が弾む一方、時が去ればその反動で気だるさと寂寥感が残る。それでもこの夏に開催されたオリンピックでの日本選手の活躍が連日報道を賑わし、そんな気持ちも少しは和らいだような気がする。

さて、布沢集落に新しい風が吹いている。宇都宮大学生と布沢区との交流が始まって早7年。区民と学生達との信頼感は深まり、交流の輪が広がりつつある。地区の行事や普請への参加とサポート、農業生産、今年は流しそうめんを準備してお年寄りに喜ばれた。さらに現在JR東労組東京地本の皆さんが空き家を譲り受け“山村暮らし体験施設”を整備し活動拠点の準備中で、今年は森林の分校ふざわの川向かいの荒れていた棚田を復元され素晴らしい景観が蘇った。もとより“恵みの森”や“森林の分校ふざわ”など、人気スポットや食事・宿泊ができる施設があり、来訪者は年々増加しつつあるが、今回の学生や都市住民との絆が生まれたのは、集落の人達の生まれ育ったふるさとへの存続をかけた熱い思いや活動が引き寄せたものだと思う。

最後に何よりうれしいことは、2組のカップル誕生だ。1組は素敵な女性が塩ノ岐から布沢に嫁いでくれた。もう1組は来春に遠く福岡県から布沢の青年に嫁いでくる(5年前の豪雨災害が縁の始まり)。

“青年に祝福!” “嫁さんに感謝!”

「末端集落」と言っていた地域が、まさに「先端集落」に向けて走って欲しいと願う。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(7月26日～8月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

酒井 希^の乃^の花^か (女/一行・敦子) 黒谷
三瓶 乃^の々^の葉^は (女/真人・恭子) 榎戸
吉津 莉^り子^こ (女/智之・裕美子) 長浜

■ご結婚おめでとうございます

二軒在家 印南 春樹♡赤塚美由紀 二軒在家
布沢 大竹 隆二♡志水 友香 福岡県

■おくやみ申し上げます

| | | | |
|----|-----|-----|----|
| 菅家 | チヨコ | 87歳 | 黒谷 |
| 皆川 | 光雄 | 85歳 | 只見 |
| 本名 | 一二 | 80歳 | 福井 |
| 目黒 | 清三 | 92歳 | 熊倉 |

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成28年8月1日現在

人口 4, 413 (－ 3)
男 2, 161 (± 0)
女 2, 252 (－ 3)
世帯数 1, 814 (－ 2)
高齢化率 44. 80%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 4 出生 3 死亡 9

あとがき

▽国道289号八十里越区間の開通を見据え、只見町と三条市の交流が活発になっています。会津工場と(株)スノーピークの技術連携、そして(株)スノーピークによる只見町版アウトドアの提案がなされ、着々と開通への準備・交流が進められています。
8月16日には、八十里越を通り只見町で亡くなった河井継之助の墓前祭が行われましたが、没後148年の現在、今も昔も変わらず八十里越しを通じて新潟県との絆が強いと感じました。只見町と新潟県の希望の路が早く開通してくれることを祈っています。

(三瓶)

町民章

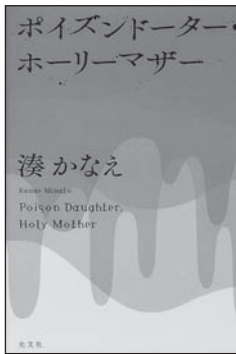
- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

只見振興センター
浅野リサ

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★ポイズンドーター・ホーリーマザー



湊かなえ/著(光文社)

女優の藤吉弓香は、故郷で開催される同窓会の誘いを断った。母親に会いたくないのだ。中学生の頃から、自分を思うようにコントロールしようとする母親が原因の頭痛に悩まされてきた。同じ苦しみを抱えた親友からの説得もあって悩んだのだが……。そんな折、「毒親」をテーマにしたトーク番組への出演依頼が届く。(「ポイズンドーター」より)

呆然、驚愕、爽快、感動—さまざまに感情を揺さぶられる圧巻の傑作集!

すべて一人称の話口調で書かれていて、湊かなえさん独特の雰囲気やジワジワと怖さが増していく作品になっています。

★はなちゃんのみそ汁



魚戸おさむ/著(講談社)

ガンで、残り少ない命を覚悟した母親が、5歳の幼き娘に伝えたのは、ひとりでも生きていけるための力! ベストセラーとなった原作『はなちゃんのみそ汁』(文藝春秋)。24時間テレビでもドラマ化された感動の実話が、親から子へと読み継がれる絵本になりました。はなちゃんのみそ汁レシピつきです!

この絵本は食育、生きる力をテーマにしたお話でとても良い本です。

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受付けていますので、ぜひご利用ください。

クスサン (学名: *Caligula japonica*)

[ヤマムユガ科 ヤマムユガ属]



▲街灯近くに集まったクスサン(左)、黄色い個体(右上)、赤い個体(右下)

クスサンは9月に見られる大型の蛾です。翅を広げた状態で人の手のひらぐらいの大きさがあります。クスサンの属するヤマムユガの仲間は日本最大級の大きさの蛾のグループです。他には、ヤマムユ、ウスタビガやオオミズアオなどがいます。どこかで見たことがありませんか。このクスサンはブナ科の樹木を広く食草とします。他にも名前につくようにクスノキも食草とします。幼虫は長い白い毛が生えていることからシラガタロウという別名があり、栗の花に非常に似ています。来年の夏の時期に探してみるといいかもしれません。去年は

クスサンが多く見られました。朝に街灯の近くに行くとは何匹も弱って落ちていました。よく見ると、個体によって黄色みがかかっているもの、赤色が強いものと色のパリエーションが様々です。昔、只見で盛んであった養蚕で使われたカイコのようにクスサンの糸にも利用用途があります。テグス(釣り糸)を作るのに使われていたそうです。そのため、もう一つ別名としてテグスサンとも呼ばれています。植物に限らず昆虫にも昔からいろいろな利用方法があるのですね。

※クスサンのように家畜化していない絹糸を作る昆虫から採る野蚕絹(ワイルドシルク)が注目されています。

企画展示

「只見の昆虫たち—只見自然環境基礎調査の報告」

期 間：7月23日(土)～10月10日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

詳しくは、
只見町プラナセンター
までお問い合わせ
ください

市町村対抗野球 只見町チーム結集!

第10回市町村対抗野球福島県軟式野球大会に出場する只見町チームが、練習に汗を流しています。メンバーは町内の野球チームから有志を募り、只見町出身者の選手などを加え26名で結成。過去9回の大会は、第6回大会のベスト16が最高。今年ベスト16を越える結果を目標にしています。キャプテンの五十嵐譲さんは「一戦必勝で戦います!」と力強くコメントしてくれました。只見町の初戦は9月17日午後1時から開成山球場(郡山)で石川町と対戦します。皆様の応援よろしくお願ひします。



▲9月2日 朝日振興センターで行われた結団式